



第190号(平成30年4月)
今号の写真:南会津町田島の桜

《 目 次 》

- ・ 着任の御挨拶
- ・ 人事異動のお知らせ

●トピックス

- ・ 「里山のつぶ」の栽培技術向上研修会
- ・ 南会津農林産物のモニタリング検査等に関する説明会

●農林事務所からのお知らせ

- ・ 春の農作業安全について
- ・ 鳥獣被害防止対策は集団ぐるみで取り組みましょう!
- ・ 緑の募金のご協力お願いします
- ・ 緊急時環境放射線モニタリングにご協力お願いします!
- ・ 南会津防霜対策本部を設置しました

●コラム

- ・ 林業成長産業化地域について

平成30年4月26日発行 福島県南会津農林事務所

着任の御挨拶

はっとりみのる

このたびの県人事異動により、4月1日付けで南会津農林事務所長に着任しました服部 実 と申します。平成30年度南会津のうりんニュース第1号の発行にあたり着任の御挨拶を申し上げます。

昨年度を振り返りますと、南会津地域が全国16ヵ所のひとつとして「林業成長産業化地域」に選定され、当地域の豊かな森林資源を活用した林業活性化に向けた新たな取組が始まりました。

また、5月には「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」がなされ、当所においても第三者認証GAP取得に向けた研修会や事業説明会を集中的に開催し、南会津町の農業者が「GLOBAL G.A.P.」を取得するなど、生産者や団体による取得に向けた動きが活発化してきております。更には「会津田島アスパラ」の地域団体商標登録や、中山間地域向けの県オリジナル水稻新品種「里山のつぶ」の本格的な作付けがスタートするなど、着実な「歩み」を進めた一年でありました。

復興・創生期間の折り返しとなる今年度は、県の復興を牽引する地域としてこれまでの成果を力強く「創生」に繋げるために『生産活動の拡大』、『生産基盤の整備』、『流通・販売の強化』の3つの柱を核とした関連事業を重点的に展開してまいります。

具体的には「里山のつぶ」の作付拡大など需要に応じた米づくりを推進するとともに、水田フル活用に向けた園芸品目への転換・規模拡大、生産安定を図ってまいります。また「林業成長産業化地域」の地域構想の具現化や農業農村整備事業の展開を通して、南会津の多様な生産活動を支える基盤を整備するとともに、第三者認証GAPの取得、パッケージデザインの改良や専門家派遣による6次化商品の磨き上げなど、細やかな支援も強化していきます。

加えて、本年6月10日には、南相馬市において天皇皇后両陛下をお招きし「第69回全国植樹祭」が開催されます。同日、会津若松市の会津総合運動公園にもPR会場を開設し、南会津地域の恵まれた森林資源や豊かな自然環境を多方面に発信してまいります。

今年度も現場の皆様の声大切にしながら、魅力的な笑顔あふれる南会津地方を目指してまいりますので、今後も御理解、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。



福島県南会津農林事務所長

はっとり みのる
服部 実

人事異動のお知らせ

4月の人事異動により14名が転出し、15名が新たに配属となりました。

転入者（カッコ内は旧所属等です）

● 所長	服部実（農業支援総室）
● 総務部	石井あかり（健康衛生総室）
● 企画部	長嶺一也（喜多方建設事務所）
● 農業振興普及部 （南郷普及所）	佐藤美香（県北農林事務所）、前原瞳（県中農林事務所） 円谷聡（県中農林事務所須賀川農業普及所）
● 農村整備部	本柳健（環境保全総室）、加藤貴大（農村整備総室）、磯目剛（会津農林事務所）、佐藤充（新規採用）
● 森林林業部	大久保圭二（林業研究センター）、小檜山敦（森林林業総室）、渡辺真紀夫（県南農林事務所）、花輪巧（新規採用）、武藤公樹（新規採用）

転出者（カッコ内は転出先です(退職者含む)）

● 所長	松村正彦（退職）
● 総務部	田中めぐみ（会津地方振興局）
● 企画部	櫻井哲裕（公立学校法人福島県立医科大学会津医療センター）
● 農業振興普及部	佐藤和也（観光交流局）、小島一良（会津農林事務所）、山口繁雄（農業総合センター）
● 農村整備部	山田隆正（会津農林事務所）、小貫恵（県南農林事務所）、小沼典男（会津農林事務所）
● 森林林業部	近藤克彦（いわき農林事務所）、佐藤宗一（退職）、緑川智子（森林林業総室）、片野高志（いわき農林事務所）、佐藤智樹（森林林業総室）

トピックス

「里山のつぶ」の栽培技術向上研修会

3月13日（火）、田島建設会館において「里山のつぶ」を生産する方々を対象に「『里山のつぶ』栽培技術向上研修会」を開催しました。



研修会の様子

中山間地向けに育成された県オリジナル水稲品種「里山のつぶ」は、昨年より一般栽培が開始され、管内での作付面積が98haと県全体の約4割を占めており、今年の当管内における作付面積は、約130haに拡大される予定です。

当所では、本年度も技術情報誌の発行や現地検討会の開催等により「里山のつぶ」の栽培支援を行ってまいりますので、興味のある方は農業振興普及部までお問い合わせください。

電話 0241-62-5262

また、同日に「南会津水稲部会」が設立され栽培技術指導会や新技術検討会の開催等、様々な活動が計画されております。入会は随時受け付けておりますので希望される方は会津よつば農業協同組合みなみ地区本部の各センターまでお問い合わせください。

（農業振興普及部）

南会津農林産物のモニタリング検査等に関する説明会

4月13日（火）、J A 会津よつばみなみ地区本部において、直売所の関係者などに向け、今年度の検査体制に関する説明会を開催しました。



説明会の様子

説明会では園芸品目、山菜、きのこや加工食品等の品目ごとの検査体制について各担当者より説明を行い、参加者からも積極的な質問がありました。

今後は南会津管内の農林産物を一人でも多くの方に安心して召し上がっていただけるよう、定期的なモニタリング検査結果の情報提供等を行ってまいります。

【山菜類】

直売所等で栽培管理、ほ場状況が適切であると確認できたものについては「栽培のもの」として出荷できます。それ以外は「野生のもの」として、町村ごとの出荷前検査を終えてから出荷していただくようお願いします。

【園芸品目】

主力品目以外で過去の検査で安全性が確認されているものは、検査を省略して差し支えありません。

（企画部）

春の農作業安全について



農作業安全を心掛けましょう！

ここ数年、農作業中の事故で亡くなる方は全国で350人前後と高止まりしており、発生件数を、10万人当たりの死亡事故発生人数に換算すると、一般交通事故の約5倍、建設業で起こる事故の約3倍に及びます。また、65歳以上の方が事故全体の8割以上、80歳以上の方は、全体の5割を占めています。県内でも平成29年度は9件(速報値)の農作業死亡事故があり、そのうちの7件が65歳以上の方の事故となっています。

4月1日(日)から5月31日(木)は「春の農作業安全運動重点推進期間」です。事故を未然に防ぐために、農業機械操作時の安全確認と事故予防対策の徹底が重要です。

特に、これから耕起や田植え作業等が本格的に始まり、慌ただしい日々が続きます。余裕を持った作業計画を立て、御家族や近所の方々と声をかけ合い、農作業安全を心掛けましょう。

(農業振興普及部)

鳥獣被害防止対策は 集団ぐるみで取り組みましょう！

野生鳥獣による農作物の被害が年々拡大していることから、効果的な鳥獣被害対策を講ずることが喫緊の課題となっています。

各地で捕獲を中心とした対策が行われていますが、捕獲だけで被害を止めることはできません。また、個人での対応には限界がありますので、集落ぐるみでの対策を考える必要があります。農作物の鳥獣被害対策は、農業振興普及部までご相談ください。

～鳥獣被害対策のポイント～

- 集落周辺に放置されている野菜くずや未収穫野菜、収穫後の落ち穂等の収穫残渣をなくし、鳥獣を近くに呼び寄せないようにしましょう
- 農地周辺の刈り払い等を行い、鳥獣が身を隠す場所をなくしましょう
- 集落として守るべき農地を決め、電気柵等で囲いましょう
- 必要に応じて捕獲を行きましょう。捕獲は最終手段であり、「捕獲のみによる鳥獣被害対策の成功例はない」と言われています。上記の対策と組み合わせ、効果的に行いましょう！



集落研修会の様子

(農業振興普及部)

緑の募金のご協力をお願いします

4月1日(日)から5月31日(木)まで「続けよう 植えて育て 緑の輪」を運動テーマとして、平成30年度春季「緑の募金」が行われます。



緑の募金街頭キャンペーン(南会津町)

ご協力いただきました「緑の募金」は、地域への緑化に対する理解と認識を深めるため、「緑の少年団」の活動支援や県内の学校、公共施設等に緑化苗木を配布する環境整備、地方植樹祭・育樹祭、学校緑化活動への支援など森林の整備及び緑化の推進に活用しています。

今年度も緑豊かなふるさと再生や豊かな森林を次世代へと引き継いでいくための活動を推進していきますので、ご協力をお願いします。

(森林林業部)

緊急時環境放射線モニタリングにご協力をお願いします！

南会津地方で出荷・販売される野菜・果実等の安全性を確認するため、平成30年度も出荷前及び出荷期間中の緊急時環境放射線モニタリング検査を実施しています。サンプリングにあたっては生産者及び関係団体・直売所等の皆様のご協力をお願いします。

栽培した山菜類等を出荷する場合は、確認票による確認が必要です！山菜類等のうち「栽培のもの」の要件をみたすものは、野菜・果実類と同様に取り扱うことができますが出荷団体等の確認票による確認が必要になりますのでご注意ください。

ウェブサイト「福島県農林水産物・加工食品モニタリング情報」に検査状況について掲載していますのでご活用ください。ご不明な点は農業振興普及部までお問い合わせください。

HP <https://www.new-fukushima.jp/>
(農業振興普及部)

南会津防霜対策本部を設置しました

当所では、4月2日(月)から6月1日(金)まで「南会津地方防霜対策本部」を設置し、関係機関と連携して防霜対策技術などの情報提供を行います。次のよう



対策本部設置の様子

な気象条件の際には凍霜害が発生しやすくなります。降霜が心配される際には被覆資材等を活用して保温などの対策に努めましょう。
○降雨後かつ肌寒い北寄りの風が吹いている
○夕方になって風が止んだ
○夜になって晴れ上がり雲がなく、底冷えする

お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>

電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256

また、毎年のように天候不順が続いていますので、霜注意報の他にも気象台の発表する警報や注意報等の気象情報を常日頃から確認し、農作物の管理に十分注意しましょう。

(農業振興普及部)

コ ラ ム

林業成長産業化地域について

昨年4月、南会津地域は、全国16カ所のひとつとして「林業成長産業化地域」に選定されました。「林業成長産業化地域」とは、地域の森林資源を有効に活用して、将来にわたって持続的に多くの雇用や経済価値を生み出す地域となることを目指して、知恵と工夫を懲らしつつ、明確なビジョンを持って取り組む地域を選定し、概ね5年間集中的に国が支援する制度です。このため、南会津町では事業内容の検討やソフト事業を実施するに当たり、林業成長産業化推進会議を軸に、3つのワーキンググループ会議、12の分科会、コア会議を設置し、各会議の構成メンバーと議論や意見交換をしながら進めているところです。

平成29年度のハード事業では、森林組合の素材生産量の拡大に向けて、グラップル付きバックホウとグラップル付きフォワーダの購入支援を行いました。平成30年度はソフト事業を展開するとともに、効率的に作業道の開設等ができるよう、ショベルとグラップルの機能が一体となった「スーパーザウルスロボ」の導入を計画しています。



スーパーザウルスロボ



グラップル付きフォワーダ

(森林林業部)



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。